

美野里中学校キャリアFES

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
取出新吾

さあ、どうします？



激しい雨が降っていて、
今にもがけ崩れが起きそうです

Bing Image Creatorで作成（AIで描画）

①自分の中学時代

②仕事を選んだ経緯（どういう意思決定があって今に至るのか）

③今の仕事について（仕事への思いなど）

④中学生へのメッセージ

中学時代

科学部在席

将来は科学者・研究者になりたいと思っていた

研究者になる夢は挫折
でも理科は好きだった

職歴

1992～



2015～



2018～

生きる、を支える科学技術
SCIENCE FOR RESILIENCE



防災科研



理事長 寶馨

防災は東日本大震災から

東日本大震災
2011/3/11



震災による死者・行方不明者は2万2318人

ICT支援応援隊



パソコン 1,475 台、プリンタ 313 台、ネットワーク 107 回線およびその他周辺機器等を被災地に提供

IT DART



一般社団法人 情報支援レスキュー隊設立
常に被災者のためになるかを問い続けながら、ITを活かすことで、災害対応のための支援を行う。

防災科研

生きる、を支える科学技術
SCIENCE FOR RESILIENCE



国立研究開発法人 防災科学技術研究所 概要

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

基本情報

名称：国立研究開発法人 防災科学技術研究所

略称：ボウサイカケン エヌアイイーディ
防災科研・NIED

沿革：

昭和38（1963）年 4月 国立防災科学技術センター設立
平成13（2001）年 4月 独立行政法人化
平成27（2015）年 4月 国立研究開発法人防災科学技術
研究所に名称変更

役員：理事長 林 春男
理事 安藤 慶明
監事 佐藤 威、神野 紀恵（非常勤）

職員数：令和3（2021）年4月1日時点 330名
（うち研究職 162名、事務職 168名）

予算：令和3（2021）年度 76.6億円
※第2期SIP分を除く

主な拠点



「生きる、を支える科学技術 SCIENCE FOR RESILIENCE」という価値観のもと、
地震、津波、火山噴火、暴風、豪雨、豪雪、洪水、地すべりなどによる
**あらゆる自然災害に対する①予測力、②予防力、③対応力、④回復力の
総合的な向上を図る研究開発を実施**

<https://www.bosai.go.jp/>



防災科学技術研究所(つくば本所)の概要

/// 気象レーダ等観測機器



ゲリラ豪雨などを引き起こす積乱雲の発達を早期に予測することを目的に、水蒸気・風・雲を観測

/// 強震観測施設 (K-NET)

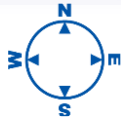


被害を及ぼすほどの強い揺れを確実に捉える地震観測施設

/// 大型降雨実験施設



最大で毎時300mmの降雨を再現できる、世界最大級の規模と能力を誇る実験施設

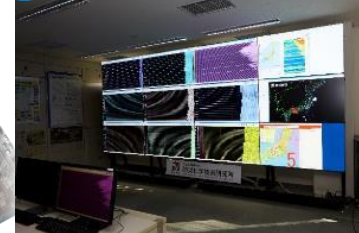


/// MPLレーダ解析室



防災科研が技術移転した国土交通省XRAINのデータをリアルタイムで受信・解析

/// 防災研究データセンター棟



全国約2,100点の観測点で構成される陸海統合地震津波観測網(MOVLAS)のデータをリアルタイムに集約・解析

/// 大型耐震実験施設



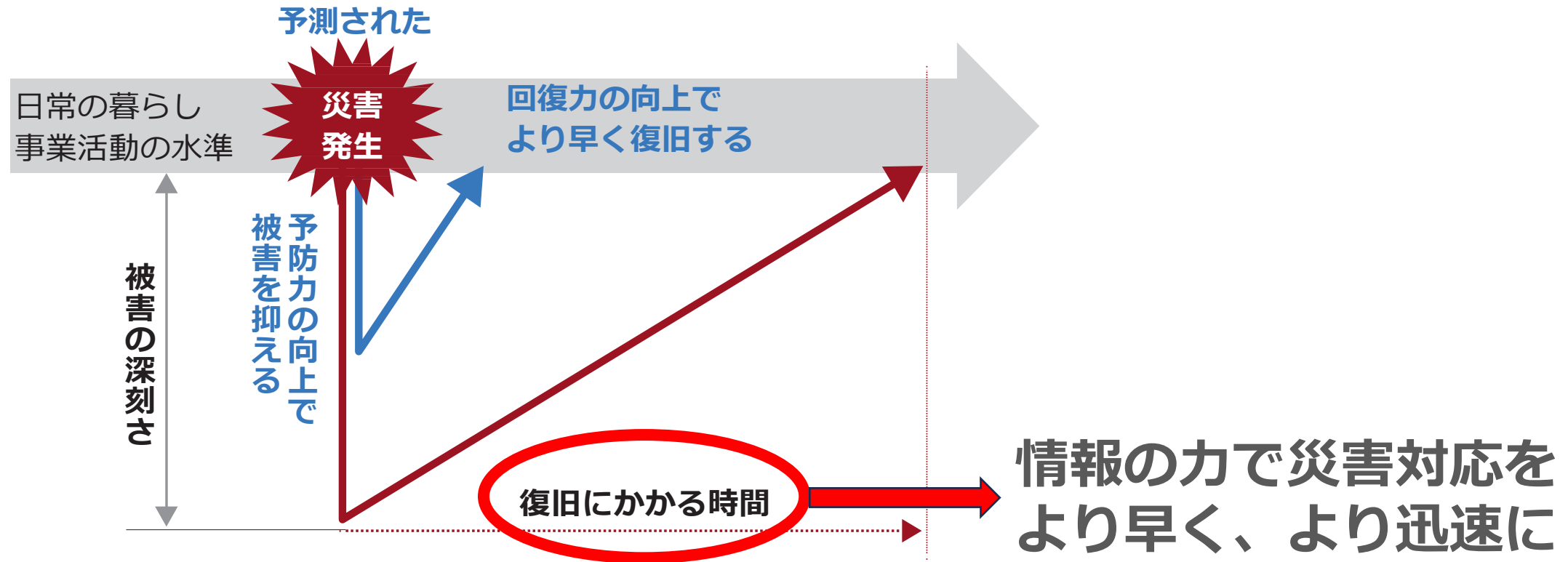
14.5m×15mの振動台を利用し、一次元の地震の揺れで検証を行う大規模な耐震実験施設

本所全景
(つくば)

<https://www.bosai.go.jp/>

レジリエンスとは何か？

予測力・予防力に回復力を加えた総合力



「被害を最小限に抑えること（予防力）」と、災害が起きた後に「速やかに回復すること（回復力）」の両面から取り組むことで、「レジリエンス」を向上させることができます。

災害対応

ISUT



防災クロスビュー

防災科研

bosai Xview

災害の過去・現在・未来を知る

防災クロスビュー: bosaiXviewは、SIP4D（基盤的防災情報流通ネットワーク）等により共有された災害対応に必要な情報を集約し、統合的に発信しています。（[詳細](#)）

最新のお知らせ

2022年4月6日
[bosaiXview: 風次書を更新しました。](#)

防災クロスビュー: bosaiXview 災害発生時公開

防災クロスビュー: bosaiXview 常時公開



気象災害 (常時公開)

A detailed screenshot of the bosai Xview website. The main area shows a 3D topographic map of a mountainous region with a red line and yellow dots overlaid. The left sidebar contains a list of disaster events with dates and times. The right sidebar shows a list of disaster types and a map of Japan with a color-coded overlay indicating disaster severity or impact.

<http://xview.bosai.go.jp/>

仕事仲間・友達を大切に

誰かの役に立つ「ありがとう」と
言ってもらえる仕事をしたい